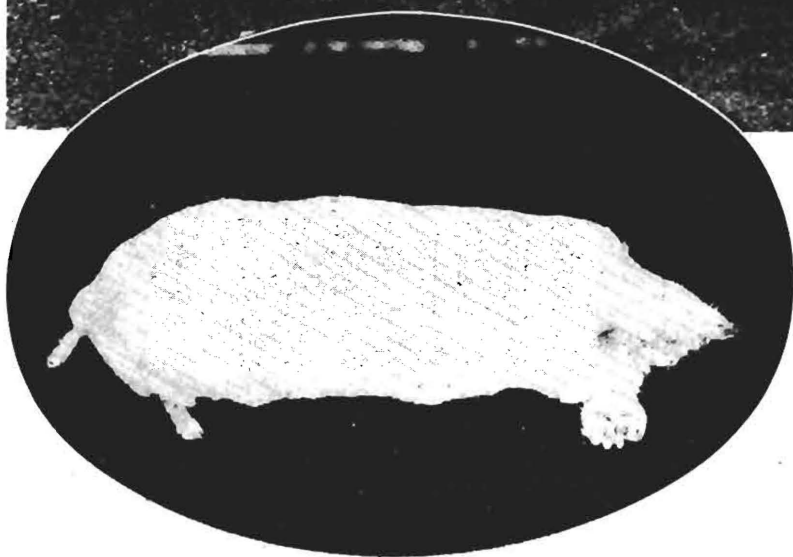




子 白 の リ ド マ ヤ



子 白 の ラ グ モ マ ツ ア

# 珍しき白化動物

農林省囑託 和田 干蔵

鳥類や哺乳類の中には、季節及び食物の關係や病的の關係で、毛や羽が白く變るものが随分ありますが、病的で白くなつたものは、アルバイノ (Albino) 即ち白子と稱するもので、眼の虹彩の色が赤味を帯びて居るものです、こゝにモグラとヤマドリの白子をお目にかけてませう。

モグラの白子は餘り多く見付からないものであるが、大正十二年十二月下旬に、青森市圖書館附近で猫が捕つて來たのを貰つて剝製にしたものである、積雪多き青森の事として、此の雪中に地上へ出る筈がないと思つてゐるが、何の目的で出たのであるか、如何して捕に捕はれたのであるか不思議である、標本は大切に保藏して居るが、今年四月中旬に開かれた、東京帝國大學の哺乳動物學會の例會に、參考品として出陳して一覽に供したのである。

ヤマドリの白子は、大正十年二月月中旬に、岩手縣二戸郡御返地村にて獲たる雄で、非常に優美な姿を持つて居る、剝製もなるべく自然の状態を崩さぬ積りで、歩行の型にしたのである

此等二種の寫真原版は青森市金澤町大山竹藏氏に保管させてあるから希望の方は同方へ申込まれたい。